



計画策定の概要

1-1 計画策定の背景と目的

本町は、数次の編成を経ながら、昭和 32 年（1957 年）3 月 31 日に大川村と仲原村が合併して「粕屋町」として発足しました。町制施行後は、福岡市のベッドタウンとして人口が増加し、公共施設（学校、公営住宅等）やインフラ施設（道路、橋梁、上下水道等）の生活基盤の整備が進められました。

現在では、これらの公共施設等は、老朽化により更新等の時期を迎える施設があり、その全てを更新していくには莫大な費用が必要であることが見込まれます。

現在、日本全体が人口減少社会に突入し、深刻な問題となっている一方で、本町においては人口増加が続いており、県内上位の出生率となっています。平成 26 年（2014 年）には人口が 4 万 5 千人を超え、人口減少社会において平成 52 年（2040 年）までの人口増加率が一番高いと見込まれる町とされています。本町は、若い子育て世代が多く、高齢者の割合は比較的低い状況にありますが、高齢者は着実に増加しています。

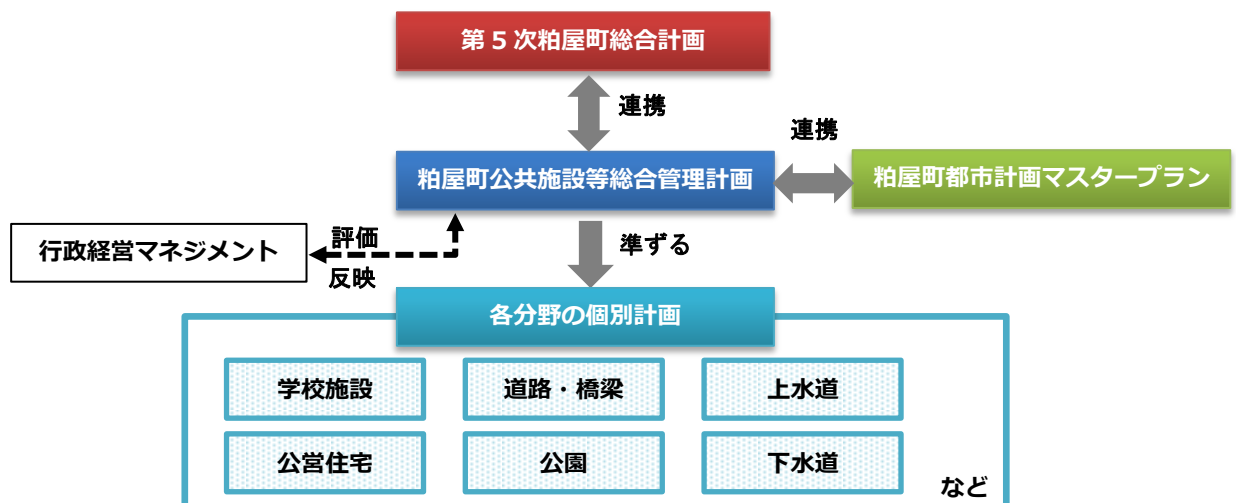
一方で、本町の財政状況は、福岡県内の類似団体平均に比べ健全な値を示していますが、公共施設の老朽化に伴う改修や人口増加に伴う施設建設の財源を町債に頼らざるを得ない状況です。また、今後高齢化が進行し、社会保障費の増加が見込まれる等、財政状況の悪化が懸念されています。

限られた財源の中で、如何に公共施設等の維持管理や更新等に伴う費用を確保し、拡大・多様化する町民ニーズに対応していくのか、そしてそのバランスをどのようにとっていくのかということが、効率的な行政運営を推進していくうえで、重要な課題となっています。また、コンパクトシティの形成など、まちづくりと連携した公共サービスの提供を検討していく必要があります。

このような状況を踏まえ、町が所有する公共施設等について、長期的な視点をもって総合的かつ計画的に管理を行っていくための基本計画である『粕屋町公共施設等総合管理計画』を策定します。

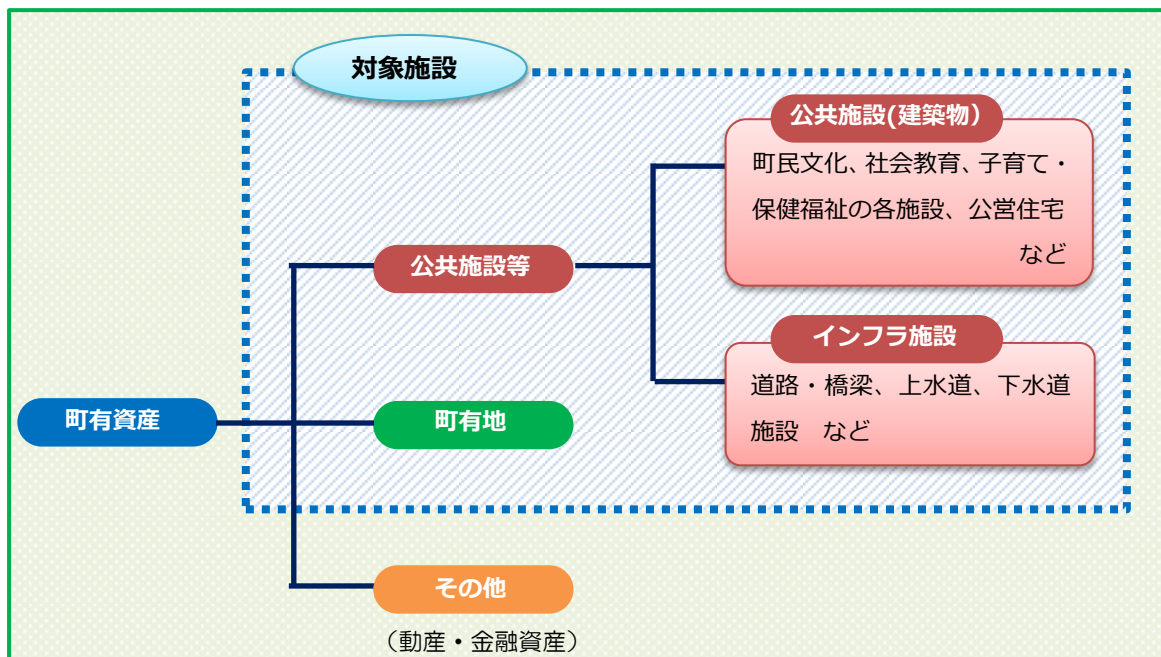
1-2 計画の位置づけ

本計画は、上位計画である「第 5 次粕屋町総合計画」に基づき、今後の公共施設等の管理に関する基本的な方向性について定めるものです。また、本町のまちづくりの方向性を示す「粕屋町都市計画マスタープラン」や行政経営マネジメントと連携を図りながら計画を進めていきます。



1-3 計画の対象施設

本計画では、本町が保有する公共施設等を対象とします。



1-4 計画期間

本町の公共施設は、今後 20 年間の間に大規模改修や建替え更新が集中する時期が到来することが予想されます。将来、公共施設等が提供するサービスや機能を維持するために、早期に具体的な取り組みを行うことが必要となります。

したがって、本計画の計画期間を平成 28 年度 (2016 年) から平成 47 年 (2035 年) の「20 年間」と設定します。なお、今後の上位・関連計画や社会情勢、個別計画の見直し等に対応するため、必要に応じて計画の見直しを行います。